

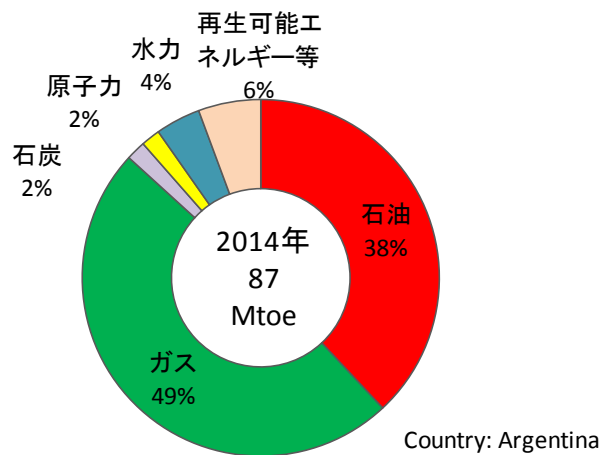
3-7 アルゼンチン

1. サマリー

1. エネルギー事情

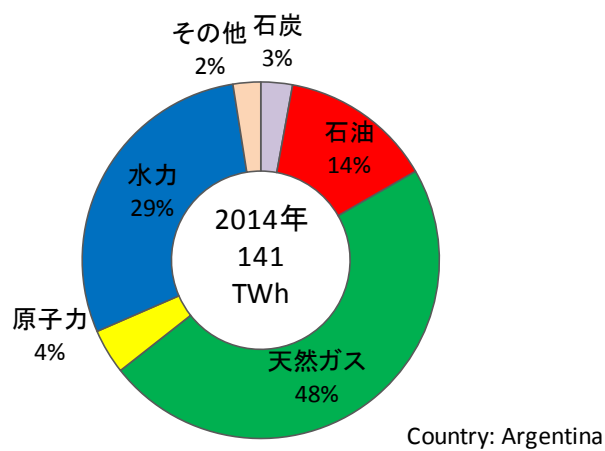
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 87 百万 toe (日本の 20%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 2.02toe/人 (日本の 58%)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 87%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 192.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 16.2%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 4.48 CO₂ 換算 ton/人 (日本の 47.9%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2015年末) : 原油 10.2年、天然ガス 9.1年、石炭 : -

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

電力供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) 資源・エネルギー政策担当機関

- アルゼンチンで資源・エネルギーを管轄するのは、連邦計画公共工事サービス省であったが、2015年12月に大統領に就任したMacri氏は、同省を4つの省に分割し、エネルギーはエネルギー鉱山省が管轄することになった。大臣にはShell Argentinaの前CEOで前政権とエネルギー政策を巡って対立していたJuan José Aranguren氏が指名された。
- エネルギー鉱山省には鉱業局、エネルギー戦略計画局、炭化水素資源局、電力局がある。同省傘下の主な独立監督機関として、アルゼンチン地質サービスSEGEMAR、原子力委員会CNEA、電力規制機関ENRE、ガス規制機関ENARGASがある。炭化水素資源局には石油の監督機能がある。

(2) 基本政策

- 2001年12月の対外債務不履行により経済危機に陥ったアルゼンチン政府は、エネルギー部門への関与を強め、価格を抑制する政策を採ってきた。この結果、民間エネルギー会社の投資意欲が減退し、アルゼンチンの原油、天然ガス生産量は減少を続けている。2012年以降、政策の転換を始めたが、化石燃料の生産は増加していない。2015年12月に誕生したMacri政権は、エネルギー部門への関与を弱め、投資を呼び込む政策を展開している。
- 外貨準備高の少ないアルゼンチンの基本政策は、国内化石燃料の生産増加、原子力発電の増加、再生可能エネルギー電源の増加により、エネルギーの輸入を減らすことにある。

(3) 最近の動向

- 2015年12月に大統領に就任した野党で中道右派のMacri氏は、様々な規制を撤廃している。
- アルゼンチンはかつてチリに天然ガスを輸出していたが、2016年5月、逆にチリから再ガス化天然ガスの輸入契約に調印した。また、ウルグアイに建設予定のLNG輸入基地から再ガス化天然ガスの輸入に基本合意した。
- 2015年9月の再生可能エネルギー法では、再生可能エネルギーによる発電のシェアを2018年までに8%、2025年までに20%とする目標が設定されている。2016年5月、Macri大統領は2025年までに再生可能エネルギー発電能力を10GWに増加させるRenovarプロジェクトを発表した。
- 2016年8月、アルゼンチン最高裁は、4月のガス価格引上げは無効とする下級審判断を支持した。10月以降、値上げの公聴会が開催されている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2000年以降、政府間、政府系機関、民間ともに、エネルギー分野での関係は殆どない。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Argentina

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		87 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.02 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.17 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		87 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		192.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		4.48 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	2 %
	石油	38 %
	天然ガス	38 %
	原子力	2 %
	水力	4 %
	再生可能エネルギー等	6 %
(8) エネルギーの輸入依存度		13 %
(9) 石油の輸入依存度		3 %
(10) 輸入原油の中東依存度		%
(11) 天然ガスの輸入先	第1位	ボリビア
	第2位	トリニダード・トバゴ
	第3位	カタール

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2016, IEA